

はじめに

地域社会における人々の生活にとって、そこで形成されているコミュニケーション・ネットワークのあり方がきわめて重要な問題である。

本研究においては、地域社会におけるコミュニケーション・ネットワークに関するいくつかの論点をめぐって分析を行っている。

すなわち、第一部においては、コミュニケーション・ネットワークを通して影響力を発揮しているオピニオン・リーダーの多形性の問題と、さまざまなトピックス（話題）をめぐって形成されているコミュニケーション・ネットワークのあり方について分析を行っている。

第二部においては、家庭内の意思決定コミュニケーションにおける夫婦の勢力関係についての分析を行っている。

なお、第一部については青池が執筆を担当し、第二部は平野が担当した。

本調査にご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

昭和63年 3月

代表者 山 岸 健 （慶應義塾大学文学部教授 ）

青 池 慎 一 （慶應義塾大学文学部教授 ）

平 野 敏 政 （慶應義塾大学文学部助教授）